



目次

日本語上達のために(43)

カチニュース(お知らせ)



日本語 **上達** のために(43)

「ディクテーションのすすめ」



皆さんは、日本語を勉強しながらこのような経験をしましたか。

1) 話せているはずなのに、書けない!

「ありがとうございました。」と挨拶できるのに、お礼のメッセージを書いてみると「ありがとうございました。」と書いてしまう、「コーヒーをお願いします。」と言えるのに、オーダーの用紙に書くとき、「コヒ?」「コヒー?」「コーヒ?」「コーヒー?」どれだったかなと迷ってしまう。

2) 聞いているはずなのに、書けない!

日本語の授業で、「これはジャパニーズポップスの雑誌です。」という説明を聞いたが「ジャパニーズ」、「雑誌」の意味が分からず、辞書で「ジャペニス」・「じゃっし」で調べた。しかし、いくら調べてもその単語を見つけることができな

い。

私もこれまで韓国語を勉強してきて、このような経験を何度もしたことがあります。練習問題やテストで間違える場合は、間違いに気づき、訂正することができます。しかし、最近流行りのSNSなどで日常の出来事を投稿したり、ブログを書いたり、携帯のメッセージやe-mailを受送信したりする場合、例えば「カラオケに行って、一緒にストレスはさん(破産、파산)しませんか?(正しくは、「発散、발산」)のような書き間違いから、コミュニケーションに支障をきたすこともあります。つまり、日本語を正確に書くということは、日本語がスラスラ話せることと同じくらい大切なことなのです。しかし実際に書いてみると、「話せているはず」「聞いているはず」の日本語が正確に書けないことに気づくことがしばしばあります。

1 ディクテーションとは

ヒューマンアカデミー(2013)の「日本語教育能力検定試験用語集(p.199)」では、ディクテーションの説明として、主に以下の3点について述べられています。

<ディクテーション dictation>

- ①教師またはCDなどの音声教材から聞き取った音を文字化していく、聞き取りの活動。
- ②ひらがな、カタカナのように音と文字を一致させる段階から、単語、文の一部、文章全体を、書き取る段階までレベルに応じて実施することができる。
- ③音を聞き取る力、音と文字を一致させて書く力、音から意味を理解する力、文章を予測して聞く力などが要求される。

皆さんも、「音声を聞き取って、実際に書く」というディクテーションは日本語のみならず、英語を勉強した時にも経験したことがあるのではないかと思います。それでは、このようなディクテーションにはどのようなメリットがあるのでしょうか。

2 ディクテーションで伸ばせる力

先述のディクテーションの説明の③にある「音を聞き取る力、音と文字を一致させて書く力、音から意味を理解する力」について見て行きましょう。

「音声を聞き取る力がつく」

「DMM英会話ブログ」“一石四鳥？リスニング力UPに効果抜群なディクテーションの基本4ステップ”の記事によると、音声を聞き取るためのリスニングの勉強、つまりディクテーションをするときには「集中して聞くことが不可欠であること」、「聞き流すよりは集中して聞いた方が、確実に効果があること」について説明されています。

この記事の筆者は、リスニング力向上のために一日に2～3時間、多い時には5時間英語のラジオの聞き流しを1か月続けたにもかかわらず、全く上達しなかったそう

です。このような結果から、聞き流しが危険な理由として「上達しているように感じてしまう」点を挙げています。記事の筆者は、「1時間の聞き流しをするのであれば、10分集中して聞いた方が間違いなく効果は高い」とアドバイスしており、音声を途中で止めながら文章を書き取る、集中して聞かざるを得ない環境を無理やり作り出すことで、ディクテーションの効果が得られると述べています。

このように音声に集中する環境を作り、コツコツ練習を続けることで「音声を聞き取る力」が徐々についてくるのです。

「音声と文字を一致させて書く力、音声から意味を理解する力、文を予測して聞く力がつく」

実際に音声を聞いてディクテーションをしてみると、「話せているはず」「聞けているはず」の日本語が、実は「出来ていない、正確に書き起こすことができない」ことに気づきます。つまり、先述の記事の「聞き流し」の例にもあったように、「何となく話せている、何となく聞けている」であろう「何となく」の自分の日本語に気づくことができ、正しい日本語を自分のものにすることができるのがディクテーションの強みです。

築山(2014)では、中級レベルの日本語学習者を対象に、日常会話のディクテーションを行い、文法・語彙テストの結果とディクテーションの正答率、誤答から分析を行っ





ています。その結果、文法・語彙テストの成績が中位の学習者の特徴として、「聞き取った音を既知の語に置き換えている」ことを挙げています。「ちょうど」を「ちょっと」、「何時でしたっけ」を「何時ですか」、「お調べしますので」を「しらべますので」としていたことを報告しており、聞いた音声をそのまま正しく聞き取ることにはできていないが、意味を想像して既知の語彙や表現に置き換えている回答が見られたとしています。また、文法・語彙テストの成績が下がるほどディクテーションにおいて無回答が増え、既知の表現に聞き間違えることもないという結果が出ています。しかし、文法・語彙の知識があってもディクテーションの正答率が低い学習者もあり、このような学習者は助詞、基本的な語彙、動詞部分の活用の聞き取りが出来ておらず、また会話場面を想定せずに音声を優先して聞いていたことが推測されたとしています。

以上の研究結果から分かることとして、ひとえにディクテーションと言っても、最初から全て聞き取ろうとしたり、全て正確に書こうとしたりするのではなく、

ステップ
01 集中して聞き、
一文字でも聞いたことを書けるようにする

ステップ
02 音と文字を一致させて書けるようにする

ステップ
03 音から意味が理解できるようにする

ステップ
04 音を文脈や場面と結び付け、
文を予測して聞けるようにする

という具合に、段階を踏んで練習して行くことで、音と文字を一致させて書けるようになり、音から意味が理解できるようになり、最終的には文脈や場面と結び付けて文を予測して聞けるようになって行くのです。

3 ディクテーションを少しずつ長く続けるためのコツ —韓国語学習の経験から—

最後に、私が韓国語を勉強する中でディクテーションを実際に経験したことから、ディクテーションを無理なく、少しずつ、長く続けるためのコツとして、次の3点ほどアドバイスをしたいと思います。

スクリプトがあり、「簡単な素材」から

ディクテーションをするためには、ドラマにしてもニュースにしても、ディクテーションする素材に必ず「スクリプト(字幕などの音声文字化されたもの)」のあるものを選びなくてはなりません。なぜなら、自分が書き取ったものが正しいかどうかをチェックするための判断材料が必要となるからです。NHKの「NEWS WEB EASY」は、簡単な日本語で書かれたニュースで、音声も聞くことができ、スピードもゆっくりであるため、ディクテーションを始めやすいのではないかと思います。

また、スクリプトがあるものでも、長くて難しいものをいきなりに聞くと、集中力も落ち、書き取れない部分が増えてディクテーションへのモチベーションも下がってしまいます。ですから、ドラマやニュースをディクテーションする場合でも、最初は単語やワンフレーズで聞き取れる簡単なものから始めて語彙を増やし、慣れてきたらドラマのワンシーンだけ、ニュースの1つの話題だけを聞き取って、長さをどんどん伸ばして行けるようにしましょう。

いつでもそばに、大きな味方「メモ帳」

日本語の授業以外でも、日本語に触れたり日本語を耳にしたりするチャンスはいくらでもあります。その時のために準備しておくというのが「メモ帳」です。

私が韓国語を勉強し始めたころは、知らない単語や表現を聞いたとき、メモ帳に聞き取った韓国語を聞こえたまま韓国語でメモしたり、韓国語が分からない場合は聞こえた音をカタカナでメモし、家に帰って辞書やインターネ



ットで意味を調べていました。「分からない単語や表現をメモする」ということは、自分で分からないということ意識しながらメモし、メモしたものを直接探して意味を書き込み、再度確認するため、記憶に残りやすいと思います。また、このようなメモが増えることで、語彙の量が増えて語彙力アップにつながり、いつも携帯しているため、いつでも何度でも確認することができます。

またメモ帳は、勉強用・仕事用のバッグに入れるだけでなく、普段いつでも携帯して、簡単に取り出してメモできるように準備しておくことが大切です。私も色々試したのですが、ハンドバッグやポシェットのような小さめのバッグに入れることまで考えた場合、「ノート」は大きすぎて不向きです。また、「分厚いメモ帳」は厚みがあることから「何も書いてない!何か書かなくては!」という負担を感じやすく、あまり長続きしませんでした。一番のお勧めは、「手のひらサイズで、一番安くて薄いメモ帳」から始めることです。このようなメモ帳だと、携帯しやすい上にすぐに何冊か溜まり、これが達成感へとつながります。

「間違い」は宝物

ディクテーションや単語の書き取りテストでもそうですが、自分一人でメモした場合でも、クラスの授業やスタディーなどで答えをチェックして間違っていた場合でも、「あっ、恥ずかしい!」「早く消さない!」と、修正ペンや消しゴムで間違いを消したりすることはありませんか? 周りには出来ていて、自分だけ間違っているような気持ちになったことはありませんか? 私も韓国語を勉強しながらこのような経験をしたので、気持ちが十分分かりますし、私も最初は「間違い」を消して修正していました。しかし、これを繰り返して分かったのは「間違えたこと」が重要なのではなく「なぜ、どのように間違えたのかに気づくこと」が重要なのだということでした。「間違えたこと」を消していたときは、「正解」は分かっても、なぜ、どのように間違えたのかは記憶に残らず、同じような綴りのミス、文法のミスを

繰り返していました。しかし、間違いの部分にチェックだけしておき、そこに他の色のペンで正しい答えを書くと、「間違い」と「正しい答え」を一度にチェックできるという大きなメリットがあることに気づきました。「書いたものの間違い」は「話したことの間違い」よりも形にして残しやすく、間違いに気づくチャンスを与えてくれる大切な宝物です。ぜひ皆さんも「間違い」を恐れるのではなく、「宝物」として大事に残して溜めて行ってほしいと思います。将来、その宝物はあなたの日本語力の財産となるでしょう。

ソウル女子大学講師

さだあきこ
迫田 亜希子

参考サイト

NHK “NEWS WEB EASY”

: <https://www3.nhk.or.jp/news/easy/>

DMM英会話ブログ “一石四鳥?リスニング力UPに効果抜群なディクテーションの基本4ステップ”

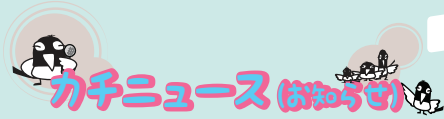
: <https://eikaiwa.dmm.com/blog/36040/>

築山さおり(2014)

「中級日本語学習者を対象とした日本語日常会話のディクテーションの語頭分析一文法・語彙の習熟度の観点から」

ヒューマンアカデミー(2013)

『日本語教育教科書 日本語教育能力検定試験50音順用語集』
翔泳社



【帰任のあいさつ】

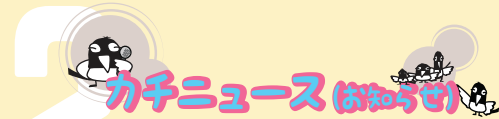
『カチの声』をいつもご愛読いただきありがとうございます。2016年から「のぞイマ(のぞいてみよう！今の日本)」の執筆を担当してきました中野友理です。2019年4月に3年余りの任期を終え、日本に帰国いたしました。もともと流行に疎い上に、海外をふらふらしていた私が「のぞイマ」の担当？と、韓国赴任直後は大いに迷いました。「今の日本を知る」というコンセプトに則って皆様に情報をお届けできたかどうかは怪しいところですが、個人的に自分がおもしろいと思っていることを、できるだけ韓国の方々にも伝えるよう努力したつもりです。

韓国では釜山に駐在し、嶺南地域の日本語教育支援に携わってきました。釜山及びその周辺の日本語教育関係者の方々は大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。私にとって韓国・釜山はもう一つの故郷だと思っています！またいつか韓国の皆様にお会いできることを楽しみにしております。



国際交流基金ソウル日本文化センター
前・嶺南地域日本語教育アドバイザー

なかの ゆり
中野 友理



【着任のあいさつ】

初めまして。嶺南地域担当の中野友理専門家の後任として着任致しました藤田智彦と申します。釜山に住むのは初めてで、多少不安もありましたが、街中で困っていると誰かが声をかけ、助けてくれる人が多く、海もあり、美味しい食べ物もたくさんある恵まれた地域だと日々感じながら暮らしています。

ところで、韓国でもこれまではアニメ等の日本のポップカルチャーに魅かれて日本語を学び始める人が多かったのが、ここ数年は日本での就職を目指す若者が増えるのに伴って、高校・大学での日本語学習者が増加傾向にあるようです。こうした日本語学習者の「出口」を意識しつつ、最も学習者の多い中等教育で学び始める「入口」の学生の支援を積極的に行いながら、日本語学習者の裾野を広げていこうと思っています。そのためにも、日本語ネイティブのサポーターの皆さんをはじめ、多くの方たちと連携しながら、日本語を使ってコミュニケーションする喜びを多くの学習者の皆さんに感じてもらえるよう頑張ります。



国際交流基金ソウル日本文化センター
嶺南地域日本語教育アドバイザー

ふじた ともひこ
藤田 智彦



【故李秀賢氏18周忌追悼写真展・公演・ドキュメンタリー映画上映会】

釜山韓日文化交流協会との共催により、2001年にJR新大久保駅で線路上に落ちた日本人を助けようとして尊い命を落とした、韓国人留学生の李秀賢(イ・スヒョン)氏の写真展を、ソウル市内2箇所において実施するとともに、同氏にちなんだ公演とドキュメンタリー映画上映会を行います。



【安蘭けいチャリティーコンサート】

宝塚歌劇団のトップスターとして活躍し、退団後もミュージカルなど舞台を中心に活動している安蘭けい氏によるチャリティーコンサートです。

開催日程 2019年6月1日(土) 19時～

入場料 5万5千ウォン

会場 KT&G サンサンマダン テチアートホール
(※国際交流基金ソウル日本文化センター後援事業)

【李秀賢氏写真展①】

開催日程 2019年6月1日(土) 19時～

会場 KT&G サンサンマダン テチアートホール ロビー
(※同日に会場で開催される安蘭けいチャリティーコンサートと併催)



【李秀賢氏写真展②】

開催日程 2019年6月14日(金)～27日(木) (※土日閉館)

会場 在韓日本国大使館公報文化院2階シルクギャラリー

【公演・映画上映会】(※入場無料)

開催日程 2019年6月25日(火) 19時～

会場 在韓日本国大使館公報文化院3階ニューセンチュリーホール

公演 歌手チュ・カヨル氏によるミニコンサート

上映映画 ドキュメンタリー映画『かけはし』(2017年、95分、韓国語字幕付)

問合せ 02-397-2820(ソウル日本文化センター)